S.P.Vつうしん

発行　スペースパークボランティアの会　広報部会

〒963-8002　郡山市駅前２－11－１ 郡山市ふれあい科学館内　TEL 024(936)0201

第３号

平成16年12月

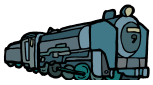
“翼（はばた）き”始めた会の活動～自主研修の秋！

☆鉄道フェスティバル＆自主研修特集☆

季節は移りゆき、Ｓ.Ｐ.Ｖの活動もさまざまに変わりつつあります。正式な会設立から１年も満たないけれど、活動は先行の鉄道ジオラマは３年目、案内サービス・科学・天文グループは２年目も後半です。だんだん年季？を経てくると欲が出てきます。「もっと喜んでもらいたい！」「もっとできる事があるのでは？」「もっと工夫を！」「もっと知識を！」～そんな思いが自主研修の形となって実を結びました。館主催ではなく、それぞれが企画し実行！館を飛び出したＳ.Ｐ.Ｖの活動!!

鉄道の日を記念して開催した、鉄道フェスティバルと共に、研修の熱気をお伝えします！

大盛況！！鉄道フェスティバル



鉄道ジオラマボランティア

赤い帯付シャッポの駅長が、使用を終えたタブレット（通票）を肩に、ジッと見つめる懐中時計、客車の暖房から漏れ揺らぐ白い蒸気、右手が上がり発車の合図、哀愁を帯びたＳＬの汽笛、威勢よくはき出すブラスト（排気）の音、汽車は出て行く、煙は残る。今は懐かしき石炭の臭い。かつて長年にわたり、定着してきた鉄道のロマン･･･。

10／９～11の３日間、10／14（鉄道の日：明治５年10／14、日本初の鉄道が開通）を記念して、郡山商工会議所青年部、ＪＲ東日本共催で「鉄道フェスティバル」が開催されました。

鉄道コレクションに興味津々

汽笛は試行錯誤で 50 年ぶり大音響

Ｓ.Ｐ.Ｖ最大級のイベントも今年で３回目を迎え、ますます充実。22 階イベントでは、おなじみのジオラマショーに人気の「きかんしゃトーマスとなかまたち」が登場、また今回の目玉のひとつ、大正時代から、昭和初期に活躍した蒸気機関車 8600 型の汽笛が約 50 年ぶりに復活！　汽笛の大音響にビックリの子供たちや、感慨深げに懐かしく聞く大人たちなど様々でした。20 階では、会員や協力者による鉄道コレクションの展示が行われました。記念切符や多くのレール群、実物運転台、大型出品としては列車運転の保安装置である「通票閉塞機」を国鉄時代の苦労話なども交えながらご案内し喜ばれていました。その他渡辺氏による「鉄道模型操作体験」、ペーパークラフトの工作等、あ

いにくの天気のなか、1,771名の来館者でたいへんにぎわっておりました。これからも、喜びと感動、そして夢と希望をお贈りする未来の「鉄道フェスティバル」開催に向けがんばっていきます！　出発進行!!《瀧田》

心地よい疲労と活動の充実感！　蓮見さん

３日間に渡って、多くの子供たちが鉄道にふれあい、また楽しみ、私たちの夢が“ビッグ愛”になったようです。今回で３回目を迎え、一部が有料となったことで、ある種の緊張感を胸に活動ができました。

例年恒例となった現職時着用の駅員・機関士・車掌・旅客車サービスの制服を身にまとい、往時を懐かしく思いながら、旗振り合図や運転のしかたなど、きめ細かく分かりやすくご案内して、鉄道フェスティバルを盛り上げる事ができました。昨年度から実施した硬券入場記念切符の配付がたいへん好評で、だんだん来館者に認知されてきました。

来年はどんな工夫をしていこうかな？と思うと、今から夢がふくらんできます。３日間、心地よい疲労と活動の充実感を得ることができ、皆さんに感謝申し上げます。　　GOOD LUCK !!

次なるステップへ!!　案内サービスボランティア

私たち案内サービスボランティアは、研修の秋！実りの秋！をテーマとして、近い将来実現しようとしている新活動“展望ロビー風景ガイド”に向け、様々な研修を行いました。

その１　会津鶴ケ城研修

鶴ケ城ボランティア馬場さんの熱い情熱

９／５（日）に、会津鶴ケ城で観光ボランティア研修を行いました。９名が参加し、小雨の降る中、会津路へと出発しました。参加者の日頃の行いが良かったのか、晴男（女？）が一緒だからか、現地到着までには、すっかり雨も上がり絶好の研修日和となりました。

今回の研修では（財）会津若松市観光公社様のご協力を得て、実際に鶴ケ城ガイドのボランティア活動を行っている馬場さんを講師として、鶴ケ城の歴史や、城の豆知識などをご説明いただきました。私たちが取り組もうとしている展望ロビーガイドの参考となり、お客様に喜ばれるポイントはどこかという観点から、“今何を知りたいのか、飽きられない説明を”を大事に感じました。

約３時間に渡り、ガイドの心構えや歴史に対する熱い情熱、そして楽しいひとときをいただきました馬場さんには、この場を借りて御礼申し上げます。参加者ひとりひとりが、さらに“わが街郡山”を、もっともっと学習していきたいと実感し、足りないところは“スマイル”でカバーしていきたいと思います！《椎根》

その２　郡山市内名所・旧跡ミニツアー①～うねめ・静御前伝説関連～

今回の行程
- ささやき橋（安積町）
- ～静御前堂（静町）
- ～美女池（大槻町）
- ～山ノ井公園（片平町）
- ～王宮伊豆神社（片平町）

このミニツアーは、郡山市内や周辺の名所・旧跡を巡り、私たちがガイドの“種”としていくため、９／19（日）に 11 名が参加して行いました。今回のツアーは郡山の代表的な伝説２つ（うねめ・静御前伝説）にスポットをあてるプログラムで行いました。これらの伝説は美しい女性の悲しい物語であり、胸が打たれました。自然の山々に囲まれている郡山の悲しい伝説をより深く知った喜びと、その場所に市民のみなさんが「ぜひ訪れてほしい！」という思いでいっぱいでした。《渡辺》

悲恋伝説に心打たれる

ますますパワーアップ！

科学ボランティア

宇宙ステーションの内部にせまる！

「科学の原理や工作のノウハウ、そして展示ゾーンの展示物についてもっと知りたい！」という声を聴き、月に一度研修会を開くことになりました。第１回研修会は９／19（日）に行われ、館の事業としてもすでに実施している展示解説ガイド「スペースツアー」を、ボランティア特別版？としてアレンジ、館職員の石原さんが講師となって研修しました。いつもの見慣れた展示物でも、意外と理解しておらず、参加者も展示物説明に自信がついたのではないでしょうか？

これからもどんどん館内研修を行う予定です。少しずつでも科学や展示について詳しくなることを目標にがんばります！

感謝とふれあい　佐藤さん

ボランティアとして２年が経過し、学ぶこと、また教えられることもたくさんありました。何よりも楽しく活動し、お客様に感謝されたり、子どもたちとふれあったり、シアワセな時間をいただきました。最近は空気の流れをテーマにした風車等を作るお手伝いをしておりますが、風力を利用するしくみを説明したいと思っても、お客様の数が多くなってくると、作るだけになってしまい、はじめに考えていたことは忘れがち･･･ただただ“反省”･･･。もっとくわしく自然エネルギーや、展示物の利用方法を楽しく理解していきたいと考えています。

ハワイ観測所のすばる望遠鏡

自主研修 in 石川スターライトフェスティバル

天文ボランティア

Ｓ.Ｐ.Ｖのロゴが輝いているブース！

秋まっただ中の 10／１～３（金～日）、石川町で開催された「石川スターライトフェスティバル 2004」に参加し、研修と星見の秋を楽しんできました。スターライトフェスティバルは、全国から星好きの人たちが集まり、望遠鏡を片手に、星を見ながら一晩中語り明かすという、かなりおタク？っぽいお祭りです。天文ボランティアからは、男５・女２＋娘が参加。天気も上々で星見には格好の夜でした。近隣から駆けつけた小学生をはじめ、多くの方たちがズラッと並ぶさまざまな望遠鏡を覗いて星々の美しさに感嘆の声を上げます。私たちも会場の一等地に陣取り、持ち寄った自慢の機材を参加者に開放して、星空をご堪能いただきました。

10／２は、夕方からやや雲が広がりましたが、恒例の真夜中の大焼肉パーティーで数百人と競い、盛り上がりました。たいへん意義のある自主研修でもあり、また県内外天文ファンの熱気がひしひしと感じる２晩でした。

望遠鏡で星を見ていると、すさんだ気持ちを一瞬にして、純心だったあのころに引き戻してくれる壮大なロマンがあります。是非あなたも観望会においでください。

８月の自主研修では、案内ボランティアも数人参加し、初心者にも使いやすい新望遠鏡の組立練習を兼ねて星空観望の予定でしたが、あいにくの曇りで本当の星を見られず残念でした。参加した皆さんありがとうございました。《捧》

天ボラの知識の泉②　～マックホルツ彗星～彗星は「ほうき星」とも呼ばれます！

年明けから良く見えるようになります。１／８におうし座すばるに接近、光度は４等級の予想。１／24 には太陽に最接近、その後３月上旬には北極星近くに移動し、一晩中みることができます

軌道に乗ってきたＳ．Ｐ．Ｖ！　中間活動成果発表会

10／24（日）、Ｓ．Ｐ．Ｖ初の「中間活動成果発表会」が開催されました。Ｓ．Ｐ．Ｖ会員28名が参加し、各グループの代表が上半期における活動の成果をそれぞれ発表しました。

その後、茶話会が催され、普段交流の少ない会員同士が親睦を図る有意義な会となりました。

案内サービスＧによる紙芝居の熱演！

Ｓ.Ｐ.Ｖ　活動情報（～３月）

案内ｻｰﾋﾞｽ　★“昔懐かし”紙芝居　◇平日 11：30～、土日祝 11：30～、14：30～（約 10 分）☆随時実演
鉄道ｼﾞｵﾗﾏ　★ジオラマショー案内　◇平日 11：00～のみ、土日祝 11：00～、15：00～（約 20 分）
科　　学　★かんたん実験工作ほか：展示ゾーン入館者　◇土日祝 10：00～16：00
天　　文　★駅前観望会　◇H17・３/19（土）　18:30～19:30、その他研修随時（含夜の部）

※ふれあい科学館の休館日を除きます。なお、都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

イベント情報　～Ｓ.Ｐ.Ｖ　ボランティアフェスティバル（仮称）～

◇H17・３／19（土）、20（日）、21（月・祝）、26（土）、27（日）10：00～17：00　場所　22 階展望ロビー

私たちＳ．Ｐ．Ｖが主催する初めての大イベントです！紙芝居や、ワークショップ、天体観望会など４グループによる楽しい企画が大爆発!!　詳細は次号にて！

★『Ｓ．Ｐ．Ｖつうしん』発行予定　第４号 17 年３月中旬　第５号 ６月下旬　第６号 ９月下旬

★Ｓ．Ｐ．Ｖでは、年１回会員募集を行っています。なお、募集についての詳細は館内掲示物やＨＰ等でお知らせします。　→ＨＰ　http://www.spacepark.city.koriyama.fukushima.jp

★募集や活動等についてのお問合せはふれあい科学館　TEL 024(936)0201 まで

今号のキラ星☆さん　鉄道ジオラマ　“伝説の機関士”長谷川さん　78 歳

郡山駅前にビッグアイが偉容を誇っています。その最上部にふれあい科学館がオープン。平成14年春の鉄道ジオラマボランティアの募集にいち早く応募しました。６／３には地方有力紙に大きく報道されテキスト持参の私が載っており、知人・友人、また何十年振りの小学校同級生から、「新聞見たよ！」と懐かしい電話やお便りをいただきました。以来、恥かき汗かきながら３年目のボランティア活動です。専門的な知識は苦手でありますが、低年齢のお客様の対応は得意分野と自負しています。「ママと来たの？」「違うよお婆ちゃん！」「えっ!?」

明るく楽しくをモットーに私の挑戦が続きます。これからも宜しくお願いいたします。

編集あとがき

「出発進行！（第１号）」、「大空へ飛び立った！（第２号）」、そして･･･

この「つうしん」も、これで第３号の運びとなりました（めでたい！）。

思い返せば、レイアウトはどんな？否その前にタイトルは何とする？何を載せるかからの話し合いでした。デザインはどーするか？ビッグアイの写真を使いたい、でも許可が間に合わないか等々。「創刊号はカタイ」との反省で、２号はイメチェン。ＰＣの前で顔つきあわせ、あーしたらこーしたら etc･･･。でもそんな風に日曜日を何度もボランティア室で過ごしたお陰で、夜間活動ばかりの私も他Ｇの方々となかよしになる機会をいただけました。

星はロマン。この広大な宇宙の中の数え切れない銀河団の中の一つである銀河団の中の、我が銀河系の中のいくつもの太陽惑星系の中の一つの、我が太陽系の地球という星で、皆さんと出会えた事こそ、私のロマンです！

――◇天文　広報部　瀧 田　祐 子